

支所だより

各総合支所管内での身近な出来事や話題などを毎月お知らせするコーナーです。

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

「これは、見事なソテツ群」

《大慈庵》

大慈庵は、享保6年（1721年）に黄檗宗正法寺二世住職広音寂梵老和尚が隠居寺として高田（国安地区）に開基したものです。

大慈庵の境内には12本のソテツ群があります。これほど見事なソテツ群が見られる寺院は珍しく、大きいものでは根回り約5メートル、高さ約4メートルにもなる樹齢200年を越えるソテツが茂っています。

現在あるソテツは、開基した当時の住職と第六代住職が、それぞれ8株ずつ植えたもののうちの12株で、石川椿庵主が丹精に育てあげ、今では立派な群生となっています。昭和58年には、市の天然記念物に指定されました。東予高校玄関前や周桑病院のソテツも、この大慈庵から移植されたものです。

境内には弘法大師を祭った大師堂と、かつて大慈庵の周囲を利用して競馬が行われていたこともあり、馬頭観音菩薩が祭られています。隣りの三芳地区に競馬場があったときは、馬主や調教師がよくお参りに来ていたといわれています。

昨年4月には、33年に一度の御開帳があり、ご利益を求めて大勢の参拝者でにぎわいました。現在、住職が不在であるため、地元自治会が御開帳実行委員会となり、即売会など300年近い伝統行事を開催するなど、地域あげてお祭りを行っています。



大慈庵のソテツ群

丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

「ふるさと」探訪

《丹原史談会》

平成17年度に丹原史談会を結成して以来、ふるさとの優れた文化遺産の理解を深め保護意識を高めるべく、年間2回の「ふるさと」探訪を続けています。今までに郷土の名刹・西山興隆寺を皮切りに、小学校区別に文化財の探訪を進めてきました。

実施に当たっては、理事会を開き探訪地を決定し、資料の作成をしたり説明分担者を決めたり、時には事前に現地確認を行い探訪に備えています。説明者の話を聞いて、補足する事項を協議したり追加資料を検討したりして、参加者の学習意欲に応えています。

平成21年度は、第1回目を5月16日(土)に田野地区<綾延神社、宝蔵寺、三島神社、浄明寺、大庄屋野口家、代官所跡、無量寺(胡蝶侘助、扁額)>、第2回目は10月に久妙

寺、今井地域の文化財を訪ねる予定です。

どちらも予備日を設けますが、第2回目が雨天の場合、古文書の研修日に当たると計画しています。

市民の皆様のご参加も歓迎します。関心のある方は丹原史談会事務局（TEL0898-68-7300内線225）までお問い合わせください。



文化遺産を訪ねる史談会の皆さん

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

藤の花と高台からの遠望を楽しみませんか

《石鎚山ハイウェイオアシス館》

市内には藤の花の名所がいくつかありますが、小松にも高台で藤を楽しむ場所があります。

石鎚山ハイウェイオアシス館の上り駐車場北側には、約15メートルにわたって藤棚が広がっています。藤棚の下に設置されているベンチに腰掛けると、見上げれば紫の花房が、また目の前には道前平野からしまなみ海道まで一望できます。

この藤棚やベンチは、平成16年3月に当時の小松町観光協会が、オアシス館や椿交流館への観光客誘致のため、地元業者の協力によって設置されたものです。藤の植樹も地元造園業者の協力で行われ、観光協会とともに地元の協力があって作られた藤棚です。

今では藤も大きく育ち、4月下旬～5月上旬にかけて紫の花房がたくさん花開きます。まもなく見ごろを迎える藤棚で藤の甘い香りに包まれながら、お花見と瀬戸内の遠望をお楽しみください。そしてその後は、子ども広場で遊んだり、おあしす市場での買い物や椿交流館での温泉や足湯など、ぜひともオアシスをまるごとお楽しみください。

■問合せ 石鎚山ハイウェイオアシス館（TEL0898-76-3111）
椿交流館（TEL0898-76-3511）



藤棚越しの眺望